

# 第82回 定時株主総会 招集ご通知

日時：2024年6月21日(金曜日)  
午前10時(受付開始 午前9時)

場所：大阪市北区梅田3丁目1番1号  
ホテルグランヴィア大阪 20階 鳳凰の間

株主総会の来場記念品(お土産)の用意はございません。  
何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。



詳細は5ページへ▶

ネットで  
招集

パソコン・スマートフォン・タブレット  
端末からもご覧いただけます。

<https://s.srdb.jp/7670/>



## CONTENTS

第82回定時株主総会招集ご通知	1
株主総会参考書類	6
第1号議案  剰余金の処分の件	
第2号議案  取締役(監査等委員である取締役を除く。)7名選任の件	
第3号議案  監査等委員である取締役3名選任の件	
事業報告	16
連結計算書類	39
計算書類	42
監査報告書	45

証券コード 7670  
2024年5月31日  
(電子提供措置の開始日 2024年5月30日)

株 主 各 位

大阪市西淀川区御幣島五丁目13番9号

**オーウエル株式会社**

代表取締役社長 川 戸 康 晴

## 第82回定時株主総会招集ご通知

拝啓 平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、当社第82回定時株主総会を下記のとおり開催いたしますので、ご通知申し上げます。

本株主総会の招集に際しては電子提供措置をとっており、インターネット上の下記ウェブサイトに「第82回定時株主総会招集ご通知」として電子提供措置事項を掲載しております。

当社ウェブサイト <https://www.owell.co.jp/ir/meeting/>

また、上記のほか、インターネット上の東京証券取引所のウェブサイトにも掲載しております。

東証ウェブサイト（東証上場会社情報サービス）

<https://www2.jpx.co.jp/tseHpFront/JJK010010Action.do?Show=Show>

上記のウェブサイトにアクセスして、当社名または証券コードを入力・検索し、「基本情報」、「縦覧書類／PR情報」を選択のうえ、ご確認くださいませようお願い申し上げます。

なお、当日ご出席されない場合は、書面または電磁的方法（インターネット）により議決権を行使することができますので、お手数ながら電子提供措置事項に掲載の株主総会参考書類をご検討くださいますと、2024年6月20日（木曜日）午後5時30分までに議決権を行使くださいますようお願い申し上げます。

敬 具

記

1	日 時	2024年6月21日（金曜日）午前10時（受付開始 午前9時）
2	場 所	大阪市北区梅田3丁目1番1号 ホテルグランヴィア大阪 20階 鳳凰の間
3	目 的 事 項	報告事項 1. 第82期（2023年4月1日から2024年3月31日まで）の事業報告及び連結計算書類の内容並びに会計監査人及び監査等委員会の連結計算書類監査結果報告の件 2. 第82期（2023年4月1日から2024年3月31日まで）の計算書類の内容報告の件 決議事項 第1号議案 剰余金の処分の件 第2号議案 取締役（監査等委員である取締役を除く。）7名選任の件 第3号議案 監査等委員である取締役3名選任の件

#### 4 その他招集にあたっての決定事項

- (1) 代理人により議決権を行使される場合は、議決権を有する株主の方に委任する場合には限られます。なお、代理人は1名とさせていただきます。
- (2) 議決権行使書において、議案に賛否の表示がない場合は、賛成の意思表示をされたものとして取り扱わせていただきます。
- (3) インターネットと書面により重複して議決権を行使された場合は、インターネットによる議決権行使を有効な行使として取り扱わせていただきます。なお、インターネットによる方法で複数回議決権行使をされた場合は、最後の行使を有効な行使として取り扱わせていただきます。

以 上

- ◎当日ご出席の際は、お手数ながら同封の議決権行使書用紙を会場受付にご提出くださいますようお願い申し上げます。
- ◎株主様へご送付している書面には、法令及び当社定款第15条の規定に基づき、下記の事項を記載しておりません。したがって、当該書面は監査報告を作成するに際し、監査等委員会及び会計監査人が監査をした書類の一部であります。
  - ・事業報告の「会社の体制及び方針（業務の適正を確保するための体制及びその運用状況の概要）」
  - ・連結計算書類の「連結注記表」
  - ・計算書類の「個別注記表」
- ◎電子提供措置事項に修正が生じた場合は、掲載している各ウェブサイトに掲載させていただきます。
- ◎株主様のご来場にあたりましては、当社から一律にマスクの着用をお願いすることはいたしませんので、ご自身でマスクの着脱をご判断くださいますようお願い申し上げます。
- ◎会場入り口付近など複数箇所にアルコール消毒液を設置しており、手指の消毒ができる環境を整えております。
- ◎感染症の流行状況により、感染予防及び拡散防止のための新たな措置を講じる場合は、インターネット上の当社ウェブサイト (<https://www.owell.co.jp/>) に掲載いたしますので、ご確認くださいようお願い申し上げます。

# 議決権行使についてのご案内

## 株主総会にご出席いただく場合



同封の議決権行使書用紙を会場受付にご提出ください。  
また、資源節約のため、本招集ご通知をご持参くださいますようお願い申し上げます。

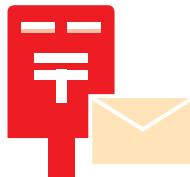
- 当日ご出席の場合は、書面またはインターネットによる議決権行使のお手続きはいずれも不要です。

株主総会  
開催日時

2024年6月21日（金曜日）午前10時（受付開始：午前9時）

## 【推奨】郵送（書面）または電磁的方法（インターネット）にてご行使いただく場合

### ▶ 【推奨】郵送（書面）による議決権行使



同封の議決権行使書用紙に議案に対する賛否をご表示いただき、下記期限までに到着するようご返送ください。

議決権行使書面において、議案に賛否の表示がない場合は、賛成の意思表示をされたものとして取り扱わせていただきます。

行使期限

2024年6月20日（木曜日）午後5時30分必着

### ▶ 【推奨】電磁的方法（インターネット）による議決権行使



当社指定の、[議決権行使ウェブサイト \(https://evote.tr.mufg.jp/\)](https://evote.tr.mufg.jp/) にアクセスいただき、画面の案内に従って各議案に対する賛否をご入力ください。

行使期限

2024年6月20日（木曜日）午後5時30分まで

- (1) 議決権行使ウェブサイトへのアクセスに際して発生する費用（インターネット接続料金、電話料金、パケット通信料等）は、株主様のご負担とさせていただきます。
- (2) インターネットのご利用環境や機器によっては、議決権行使ウェブサイトをご利用いただけない場合があります。

### 複数回にわたり行使された場合の議決権の取り扱い

- 郵送（書面）とインターネットにより重複して議決権を行使された場合は、インターネットによる議決権行使の内容を有効として取り扱わせていただきますのでご了承ください。
- インターネットにより複数回にわたり議決権を行使された場合は、最後に行使された内容を有効とさせていただきます。  
また、パソコンとスマートフォンで重複して議決権を行使された場合も、最後に行使された内容を有効とさせていただきます。

# インターネットによる議決権行使のご案内

インターネットによる議決権行使は、当社の指定する議決権行使ウェブサイト (<https://evote.tr.mufg.jp/>) にアクセスしていただき、画面の案内に従って賛否をご入力ください。(ただし、毎日午前2時30分から午前4時30分までは取り扱いを休止します。)

**議決権行使期限 2024年6月20日(木曜日) 午後5時30分まで**

## QRコードを読み取る方法

QRコードを読み取りいただくことで「ログインID」「仮パスワード」の入力が不要に



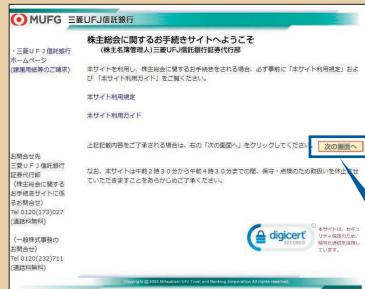
### アクセス手順

- ① お手持ちのスマートフォンにて、同封の議決権行使書副票(右側)に記載の「ログイン用QRコード」を読み取りいただき、ログイン。
- ② ログイン後は画面の案内に従って賛否をご入力ください。

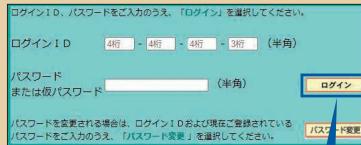
## ログインID・仮パスワードを入力する方法：パソコン、スマートフォンの場合

### アクセス手順

#### ① WEBサイトへアクセス



#### ② 「ログインID」と「仮パスワード」を入力



#### ③ 以降は画面の案内に従って賛否をご入力ください。

## システム等に関するお問い合わせ

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 (ヘルプデスク)

**0120-173-027**

(受付時間 9:00~21:00、通話料無料)

# 招集ご通知をネットで簡単・便利に

～スマートフォンやパソコンで閲覧できる「ネットで招集」～



招集ご通知の掲載内容をコンパクトにまとめ、スムーズな画面遷移を実現した「ネットで招集」。パソコン・スマートフォン・タブレット端末からいつでもどこからでもご覧いただけます。

アクセスは  
こちら!! ▶



<https://s.srdb.jp/7670/>

「ネットで招集」へのアクセスは上記のQRコードをご利用ください。



## ●QRコードの読み取り、 議決権行使ウェブサイトへ簡単アクセス!

こちらを押すと「読取」か「移動」ボタンが選択できます。「読取」を選択すると自動でカメラが起動しますので、同封の議決権行使書副票(右側)に記載された「ログイン用QRコード」を読み取りください。  
(「移動」を選択した場合、議決権行使ウェブサイトへアクセス可能です。)

## ●簡単スケジュール登録

開催日時はGoogleカレンダーと連携しています。Googleカレンダーを利用している方は簡単にスケジュール登録をすることができます。

## ●株主総会会場へのアクセスにも便利

開催場所の地図はGoogleマップと連動しています。

# 株主総会参考書類

## 議案及び参考事項

### 第1号議案 剰余金の処分の件

当社は、株主の皆様に対する利益還元を重要な経営課題と認識しており、持続的な成長と企業価値向上のため、財務体質の強化と事業拡大のための内部留保を確保しつつ、安定的かつ継続的な配当を実施していくことを配当政策の基本方針としております。

2024年3月期の期末配当につきましては、上記の配当方針に基づき、当期の業績の状況および経営環境等を勘案し、1株につき22円の普通配当に、当社創立80周年の記念配当10円を加え、32円とさせていただきますたく存じます。

#### 期末配当に関する事項

##### 1 配当財産の割当に関する事項及びその総額

配当財産の種類を金銭とし、当社普通株式1株につき、32円といたしたいと存じます。  
なお、この場合の配当総額は、327,290,336円となります。

##### 2 剰余金の配当が効力を生ずる日

2024年6月24日

## 第2号議案

# 取締役（監査等委員である取締役を除く。）7名選任の件

取締役（監査等委員である取締役を除く。）7名全員は、本総会の終結の時をもって任期満了となりますので、取締役（監査等委員である取締役を除く。）7名の選任をお願いいたしますと存じます。なお、監査等委員会は、各候補者に関して、当社の取締役として適任であると判断しております。

取締役（監査等委員である取締役を除く。）の候補者は、次のとおりであります。

候補者番号		氏名	現在の 当社における地位及び担当	取締役会 出席率
1	再任	とび かつ と じ 飛 戸 克 治	取締役会長	100% (14回/14回)
2	再任	かわ と やす はる 川 戸 康 晴	代表取締役社長	100% (14回/14回)
3	再任	はら かず ひろ 原 一 裕	常務取締役 営業部門管掌 塗膜形成部 担当	100% (14回/14回)
4	再任	おお の よし たか 大 野 善 崇	常務取締役 業務部門管掌	100% (14回/14回)
5	再任	かんむり かず き 冠 一 基	取締役 営業部門管掌補佐 東日本販売部担当 東日本販売部長	100% (14回/14回)
6	再任	えのき ひろし 榎 宏	社外 独立役員 取締役	100% (14回/14回)
7	新任	さ ど い あさ み 佐 戸 井 麻 美	社外 独立役員 —	—

# 1 飛 戸 克 治

(1957年11月26日生)

再任

保有する  
当社の株式数 103,152株



## <略歴、地位および担当>

1980年 4月 当社入社  
2005年 6月 当社取締役  
2008年 4月 当社常務取締役  
2011年 6月 当社専務取締役  
2013年 6月 当社代表取締役社長  
2022年 6月 当社代表取締役会長  
2023年 6月 当社取締役会長に就任、現在に至る

## <取締役候補者とした理由>

飛戸克治氏は、当社入社以来、多様な分野に豊富な経験と知見を有しております。2013年に代表取締役社長、2022年6月からは代表取締役会長に就任し、中期経営計画の達成および経営改革に尽力してまいりました。以上のことから、同氏の当社における経験や実績を踏まえ、当社グループの持続的な成長と企業価値の向上を図るうえで最適な人材であると判断し、引き続き取締役候補者いたしました。

# 2 川 戸 康 晴

(1971年 1月14日生)

再任

保有する  
当社の株式数 40,097株



## <略歴、地位および担当>

1994年 4月 当社入社  
2020年 6月 当社取締役 経営企画室・グローバル戦略プロジェクト担当  
2022年 6月 当社代表取締役社長に就任、現在に至る

## <取締役候補者とした理由>

川戸康晴氏は、当社入社以来、コーティング関連事業、エレクトロニクス関連事業の両セグメントの営業から業務部門まで多岐にわたる経験と知見を有しております。2022年6月に代表取締役社長に就任し、2024年度より新たにスタートした中期経営計画のビジョンである「ものづくり現場の発展・進化をリードし、持続可能な世界の創造・実現に貢献する」の実現に向けて強いリーダーシップを発揮するとともに当社グループの持続的な成長と企業価値の向上を推進するうえで、最適な人材であると判断し、引き続き取締役候補者いたしました。

3 はら 原 かず ひろ  
一 裕  
(1961年5月8日生)

再任

保有する  
当社の株式数 63,776株



<略歴、地位および担当>

1984年 4月 当社入社  
2013年 6月 当社取締役  
2018年 9月 当社常務取締役 営業部門管掌  
2024年 4月 当社常務取締役 営業部門管掌 塗膜形成部担当に就任、現在に至る

<取締役候補者とした理由>

原一裕氏は、当社入社以来、主に自動車産業を中心としたコーティング関連事業に従事し、塗料業界や塗料販売について豊富な経験と知見を有しております。2013年に取締役に就任し、2018年からは営業部門管掌として当社事業の拡大に尽力しております。以上のことから、当社グループの持続的な成長と企業価値向上のため、コーティング関連事業及びエレクトロニクス関連事業のさらなる拡大を推進するうえで、同氏の当社における経験や実績を踏まえ、引き続き取締役候補者いたしました。

4 おお の よし たか  
大 野 善 崇  
(1968年3月23日生)

再任

保有する  
当社の株式数 30,032株



<略歴、地位および担当>

1991年 4月 当社入社  
2022年 6月 当社取締役 総務部・人事部・経理部・品質保証部担当  
2023年 4月 当社常務取締役 業務部門管掌に就任、現在に至る

<取締役候補者とした理由>

大野善崇氏は、当社入社以来、経理部門をはじめ経営企画室長として業務に従事し、財務・会計及び経営管理に経験と知見を有しております。2018年9月より執行役員として管理部門を担当するとともに、2022年に取締役に就任し、2023年4月からは業務部門管掌として、内部統制・管理面の強化に取り組んでまいりました。以上のことから、当社グループの人的資本経営の実現を含めた持続的な成長と企業価値の向上のためのガバナンスや経営基盤強化を推進するうえで、同氏の当社における経験や実績を踏まえ、引き続き取締役候補者いたしました。

かんむり  
5 冠

(1969年10月11日生)

かず き  
一 基

再任

保有する  
当社の株式数 18,283株



<略歴、地位および担当>

1992年 4月 当社入社  
2022年 6月 当社取締役 営業部門管掌補佐 営業推進部担当  
2023年 4月 当社取締役 営業部門管掌補佐 東日本販売部担当 東日本販売部長  
に就任、現在に至る

<取締役候補者とした理由>

冠一基氏は、当社入社以来、コーティング関連事業に従事し、塗料業界や塗料販売に経験と知見を有しております。2016年より執行役員として経営企画室や大手取引先を主とする営業部門を担当するとともに2022年6月からは取締役就任し、営業部門管掌補佐として当社の事業拡大に取り組んでまいりました。以上のことから、当社グループの持続的な成長と企業価値向上のため、事業のさらなる拡大を推進するうえで、同氏の当社における経験や実績を踏まえ、引き続き取締役候補者といたしました。

えのき  
6 榎

(1956年6月27日生)

ひろし  
宏

再任

社外

独立役員

保有する  
当社の株式数 10,000株



<略歴、地位および担当>

1984年10月 等松・青木監査法人（現 有限責任監査法人トーマツ）入社  
1990年 3月 公認会計士登録  
1999年12月 株式会社トーマツ環境品質研究所（大阪）代表取締役  
2006年 4月 トーマツコンサルティング株式会社（大阪）代表取締役  
2006年 7月 監査法人トーマツ（現 有限責任監査法人トーマツ）代表社員  
2018年 6月 田辺三菱製薬株式会社 社外監査役  
当社社外取締役に就任、現在に至る

<社外取締役候補者とした理由及び期待される役割>

榎宏氏は、長年にわたり株式会社トーマツ環境品質研究所、トーマツコンサルティング株式会社の代表取締役を務められ、経営者として豊富な経験と幅広い見識をもとに、当社の経営を監督していただき、かつ、公認会計士としての経験・見識も豊富であり、当社の経営全般に助言を頂戴することによりコーポレート・ガバナンスの強化に貢献されることを期待し、引き続き社外取締役候補者といたしました。また、同氏は、指名・報酬委員会の委員長として当社の取締役の指名・報酬等に関する手続きに対し、客観的・中立的立場で関与いただいています。

さ ど い あ さ み  
7 佐戸井 麻美  
(1958年12月26日生)

新任

社外

独立役員

保有する  
当社の株式数

0株



#### <略歴、地位および担当>

- 1981年 4月 富士通株式会社入社
- 2009年 1月 同社システムプロダクトビジネス推進本部 統括部長
- 2014年 6月 富士通ミドルウェア株式会社 取締役
- 2015年 6月 同社代表取締役社長
- 2023年 6月 株式会社ミックウェア 社外取締役に就任、現在に至る

#### <重要な兼職の状況>

株式会社ミックウェア 社外取締役

#### <社外取締役候補者とした理由及び期待される役割>

佐戸井麻美氏は、富士通株式会社で培われたソフトウェア開発とマーケティングについての豊富な経験と見識を有するとともに、富士通ミドルウェア株式会社の代表取締役に務められました。富士通ミドルウェア株式会社ではダイバーシティ経営を推進され、女性活躍推進においてその豊富な経験と見識に基づく客観的な視点を当社の経営に反映いただくとともにコーポレート・ガバナンスの強化に貢献されることを期待し、社外取締役候補者としていたしました。なお、同氏は、東京証券取引所の上場規則に定める独立社外取締役の要件を満たしております。

- (注)
1. 各取締役候補者と当社との間には、特別の利害関係はありません。
  2. 取締役候補者の所有する当社株式数は、2024年3月31日現在の状況を記載しております。
  3. 榎宏、佐戸井麻美の両氏は、社外取締役候補者であります。なお、当社は両氏を東京証券取引所の定めに基づく独立役員として指定し、同取引所に届け出ております。
  4. 榎宏氏の当社社外取締役の在任期間は、本総会終結の時をもって6年となります。
  5. 当社は榎宏氏との間に、会社法第427条第1項の規定に基づき、同法第423条第1項の損害賠償責任を限定する契約を締結しており、当該契約に基づく損害賠償責任の限度額は、法令で定める最低責任限度額となっております。  
同氏の再任が承認された場合には、同氏との間で、当該契約を継続する予定であります。また、佐戸井麻美氏の選任が承認された場合、当社は同氏との間で、同様の責任限定契約を締結する予定であります。
  6. 当社は、当社の取締役及び執行役員並びに当社子会社の取締役及び監査役を対象として、会社法第430条の3第1項に規定する役員等賠償責任保険（D&O保険）契約を保険会社との間で締結しております。当該保険契約では、役員等がその職務の執行に関し責任を負うこと、または当該責任の追及に係る請求を受けることによって生じる損害について補填する契約内容となっております。ただし、法令違反の行為であることを認識して行った行為に起因して生じた損害は補填されないなど、一定の免責事由があります。なお、各候補者が取締役に就任した場合は、当該保険契約の被保険者となります。また、次回更新時には同内容での更新を予定しております。

### 第3号議案

## 監査等委員である取締役3名選任の件

監査等委員である取締役3名は、本総会の終結の時をもって任期満了となりますので、監査等委員である取締役3名の選任をお願いいたしたいと存じます。

なお、本議案につきましては、監査等委員会の同意を得ております。

監査等委員である取締役の候補者は、次のとおりであります。

候補者番号		氏名	現在の当社における地位及び担当	取締役会出席率
1	新任	のぐち しんじ 野 口 信 治	営業部門管掌役員付	—
2	再任	わた なべ とおる 渡 辺 徹	社外 独立役員 取締役（監査等委員）	92.9% (13回/14回)
3	新任	よこ やま せいじ 横 山 誠 二	社外 独立役員 —	—

1	のぐち しんじ 野 口 信 治	新任	保有する 当社の株式数	12,443株
---	--------------------	----	----------------	---------

(1965年2月26日生)



#### <略歴、地位および担当>

1987年4月 当社入社  
 2009年4月 当社塗膜形成部長  
 2012年4月 当社東日本第3販売部長  
 2014年11月 オーレックス株式会社（現 サンマルコ株式会社）代表取締役社長  
 2020年4月 当社執行役員 西日本販売部担当 西日本販売部長  
 2024年4月 当社営業部門管掌役員付に就任、現在に至る

#### <監査等委員である取締役候補者とした理由>

野口信治氏は、当社入社以来、コーティング関連事業に従事し、塗料業界や塗料販売に経験と知識を有しており、2014年に子会社の代表取締役社長として経営に携わるとともに、2020年4月より執行役員として西日本販売部を担当し、当社の事業拡大に取り組んでまいりました。以上のことから、同氏の当社における経験や実績を踏まえ、監査等委員としての立場から経営に参画いただくことで、コーポレート・ガバナンスを中心とした経営の健全性確保に貢献されることを期待し、監査等委員である取締役候補者といたしました。

わた なべ とおる  
2 渡 辺 徹

(1966年2月2日生)

再任

社外

独立役員

保有する  
当社の株式数

0株



<略歴、地位および担当>

- 1993年4月 弁護士登録  
北浜法律事務所（現 弁護士法人北浜法律事務所）勤務
- 1998年1月 北浜法律事務所（現 弁護士法人北浜法律事務所）パートナー
- 2007年6月 当社社外監査役
- 2009年12月 S H O - B I 株式会社（現 粧美堂株式会社）社外取締役
- 2013年6月 青山商事株式会社 社外監査役
- 2015年12月 S H O - B I 株式会社（現 粧美堂株式会社）社外取締役（監査等委員）（現任）
- 2019年6月 青山商事株式会社 社外取締役（現任）
- 2020年1月 弁護士法人北浜法律事務所 代表社員（現任）
- 2020年6月 当社社外取締役（監査等委員）に就任、現在に至る

<重要な兼職の状況>

- 弁護士法人北浜法律事務所 代表社員
- 粧美堂株式会社 社外取締役（監査等委員）
- 青山商事株式会社 社外取締役

<監査等委員である社外取締役候補者とした理由及び期待される役割>

渡辺徹氏は、過去に会社経営に関与した経験はありませんが、日本弁護士連合会「民事裁判手続に関する委員会」委員長をはじめとする多くの法律分野に関する公職を歴任され、法律家としての豊富な経験と高い見識・専門性を有しております。監査等委員としての立場から引き続き当社の経営に参画いただくことで、取締役会の意思決定機能や監督機能の実効性強化に貢献されることを期待し、監査等委員である社外取締役候補者といたしました。

3 よこ やま せい じ  
横 山 誠 二  
(1960年7月10日生)

新任

社外

独立役員

保有する  
当社の株式数

0株



#### <略歴、地位および担当>

1983年4月 東レ株式会社入社  
1985年10月 等松・青木監査法人（現 有限責任監査法人トーマツ）入社  
1989年3月 公認会計士登録  
1993年8月 米国 Deloitte & Touche LLP サンノゼ事務所出向  
2001年7月 監査法人トーマツ（現 有限責任監査法人トーマツ）パートナー  
2020年6月 横山誠二公認会計士事務所設立  
株式会社SCREENホールディングス 社外監査役に就任、現在に至る

#### <重要な兼職の状況>

株式会社SCREENホールディングス 社外監査役

#### <監査等委員である社外取締役候補者とした理由及び期待される役割>

横山誠二氏は、過去に会社経営に関与した経験はありませんが、公認会計士として国内外の多くの企業の監査に従事され、財務・会計に関する高度な知識と幅広い経験を有しております。監査等委員としての立場から新たに当社の経営に参画いただくことで、当社の事業活動の公平・公正な決定および経営の健全性確保に貢献されることを期待し、監査等委員である社外取締役候補者となりました。なお、同氏は、東京証券取引所の上場規則に定める独立社外取締役の要件を満たしております。

- (注) 1. 各監査等委員である取締役候補者と当社との間には、特別の利害関係はありません。  
2. 監査等委員である取締役候補者の所有する当社株式数は、2024年3月31日現在の状況を記載しております。  
3. 渡辺徹および横山誠二の両氏は、監査等委員である社外取締役候補者であります。なお、当社は両氏を東京証券取引所の定めに基づく独立役員として指定し、同取引所に届け出ております。  
4. 渡辺徹氏の当社社外取締役の在任期間は、本総会終結の時をもって4年となります。  
5. 渡辺徹氏との間に、会社法第427条第1項の規定に基づき、同法第423条第1項の損害賠償責任を限定する契約を締結しており、当該契約に基づく損害賠償責任の限度額は、法令で定める最低責任限度額となっております。  
同氏の再任が承認された場合には、同氏との間で、当該契約を継続する予定であります。また、野口信治、横山誠二の両氏の選任が承認された場合、当社は両氏との間で、同様の責任限定契約を締結する予定であります。  
6. 当社は、当社の取締役及び執行役員並びに当社子会社の取締役及び監査役を対象として、会社法第430条の3第1項に規定する役員等賠償責任保険（D&O保険）契約を保険会社との間で締結しております。当該保険契約では、役員等がその職務の執行に関し責任を負うこと、または当該責任の追及に係る請求を受けることによって生じる損害について補填する契約内容となっております。ただし、法令違反の行為であることを認識して行った行為に起因して生じた損害は補填されないなど、一定の免責事由があります。なお、各候補者が取締役就任した場合は、当該保険契約の被保険者となります。また、次回更新時には同内容での更新を予定しております。

(ご参考)

取締役会の構成（本総会において各候補者が選任された場合）

氏名	企業 経営	財務 会計	人事 労務	法務 ガバナンス	コーティング 関連	IT/IT 関連	グローバル
飛戸 克治	○						
川戸 康晴	○						
原 一 裕	○				○	○	○
大野 善崇	○	○	○	○			
冠 一 基	○				○		○
榎 宏	社外 独立	○					
佐戸井 麻美	社外 独立	○	○			○	
野口 信治 監査等委員	○				○		
渡辺 徹 監査等委員	社外 独立			○			
横山 誠二 監査等委員	社外 独立	○					○

(注) 本表は、取締役会として特に期待する専門分野、バランスを本マトリックスにて示すものとなっております。なお、これらは各候補者が有する全ての専門性と経験を示すものではありません。

以 上

# 事業報告 (2023年4月1日から2024年3月31日まで)

## 1 企業集団の現況に関する事項

### (1) 事業の経過及びその成果

当連結会計年度におけるわが国経済は、アフターコロナに向けた社会経済活動の正常化が進み、景気は持ち直しの動きが見られました。また、当社グループの主たるお客様である自動車業界においては、半導体不足の緩和により自動車生産は回復傾向で推移いたしました。

当社グループが主に関連する塗料業界におきましては、日本塗料工業会の集計によりますと、出荷数量では前期比2.1%減の150万トン、出荷金額では前期比3.3%増の7,321億円となりました。

このような状況の中、当社グループは、マーケティング活動を強化し、当社グループのコア事業である塗料関連事業と電気・電子部品事業のシナジーを高め、ものづくり現場のデジタル化、グローバル化を推進しました。また、お取引先様の課題解決に的を絞り、急速に変化し続ける経済環境下においても通用する価値を提供して、新たな需要を創造していくとともに、事業活動を通じてSDGs等の社会課題の解決に貢献してまいりました。さらに、これらの事業を展開する上で、事業構造や経営資源の配分を抜本的に見直し、収益体質を強化することに努めてまいりました。

その結果、当連結会計年度の売上高は前期比10.4%増の710億4千9百万円、営業利益は前期比34.5%増の9億3千万円、経常利益は前期比23.3%増の12億1千2百万円となりました。親会社株主に帰属する当期純利益は、前期比134.7%増の15億2千6百万円となりました。

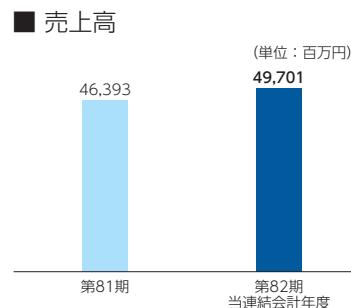
売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益
710億4千9百万円 (前期比 10.4%増)	9億3千万円 (前期比 34.5%増)	12億1千2百万円 (前期比 23.3%増)	15億2千6百万円 (前期比 134.7%増)

なお、セグメント別売上高の内訳は、次のとおりであります。

## 塗料関連事業

塗料関連事業では、主たるお客様である自動車メーカーの生産台数が、前連結会計年度と比較すると増加したこと、塗装設備完工による完成工事高が増加したこと等により、売上高は増加しました。

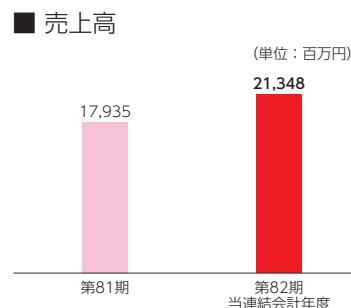
その結果、塗料関連事業の業績は、売上高は前期比7.1%増の497億1百万円、セグメント利益は前期比27.4%増の24億4千2百万円となりました。



## 電気・電子部品事業

電気・電子部品事業では、主たるお客様である自動車メーカーの生産台数が、前連結会計年度と比較すると増加したことに加えて、為替が円安で推移したこと等により、売上高は増加しましたが、当社子会社であるユニ電子(株)において、次世代カーナビゲーションソフトウェアの開発費を原価に計上したため、利益は減少しました。

その結果、電気・電子部品事業の業績は、売上高は前期比19.0%増の213億4千8百万円、セグメント利益は前期比12.7%減の4億5千1百万円となりました。

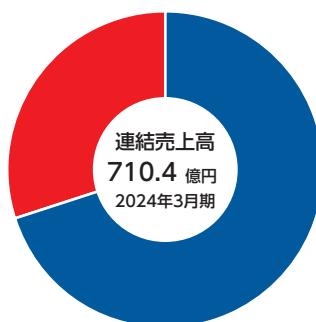


### 電気・電子部品事業

213.4億円  
[構成比:30.0%]

### 塗料関連事業

497.0億円  
[構成比:70.0%]



## (2) 設備投資の状況

当連結会計年度中に実施した設備投資の総額は177百万円であり、その主なものは塗装機器や計測機器の導入等であります。

## (3) 資金調達の状況

該当事項はありません。

## (4) 対処すべき課題

今後の国内外の景気動向は、ウクライナや中東地域をめぐる情勢、物価の上昇、世界的な金融引締めに伴う影響等による景気減速が懸念されていることから、先行き不透明な状況が継続すると推測されます。

当社グループはこのような状況のもと、2024年度を初年度とし、2026年度を最終年度とする中期経営計画を策定いたしました。「グローバルブランドO-Wellの樹立」を10年後の目指す姿とし、当社グループが主体者として、ビジョン「ものづくり現場の発展・進化をリードし、持続可能な世界の創造・実現に貢献する」の実現を目指してまいります。また、世界のものづくり現場が、DX（デジタル・トランスフォーメーション）やSX（サステナビリティ・トランスフォーメーション）といった社会的な概念が浸透・実現される中、当社グループは中期経営方針「提供価値を革新し、創造する」のもと、グローバルに展開するお客様の課題解決手段として、「商材提供」型から、「ワンストップソリューション提供」型へと提供価値を強化してまいります。

ワンストップで広範囲の課題を解決し、ビジネスを拡大していくことを踏まえて、2025年3月期よりセグメント名称を「塗料関連事業」「電気・電子部品事業」から、我々が事業を展開する分野・領域を表現した「コーティング関連事業」「エレクトロニクス関連事業」に変更いたします。

コーティング関連事業においては、中期重点方針「コーティングの未来を創る」のもと、培ってきた塗膜形成力を核（コア）とした機能拡大を図ると同時に、未来のものづくりのイノベーションの中においても、我々の新たな提供価値を創造してまいります。

エレクトロニクス関連事業においては、中期重点方針「提供価値を拡大する」のもと、これまで育んできたエレクトロニクス分野ビジネスで、我々の発揮する機能を、さらに付与し、さらに拡大してまいります。

また、経営基盤においては、中期重点方針「資本効率を向上する」のもと、今後も社会的責任を果たしながら、持続的な発展と成長を遂げるために、保有・調達する資源（人、もの、金、情報、時間、知的財産）を、適切かつ効率良く活用してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後ともなお一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

## (5) 財産及び損益の状況

### ① 企業集団の財産及び損益の状況推移

区 分	第79期 2021年3月期	第80期 2022年3月期	第81期 2023年3月期	第82期 (当連結会計年度) 2024年3月期
売上高 (百万円)	54,621	56,945	64,329	71,049
営業利益又は営業損失 (△) (百万円)	△74	229	691	930
経常利益 (百万円)	119	501	983	1,212
親会社株主に帰属する 当期純利益 (百万円)	398	261	650	1,526
1株当たり当期純利益 (円)	38.51	25.27	63.79	149.37
総資産 (百万円)	44,563	41,646	45,470	48,425
純資産 (百万円)	20,199	18,091	19,318	21,002

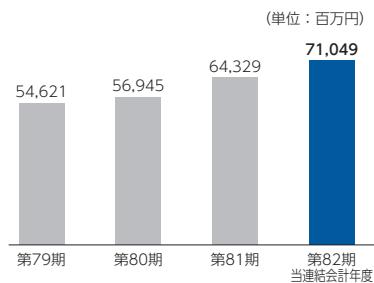
(注) 1株当たり当期純利益は、期中平均発行済株式数（自己株式数を控除した株式数）により算出しております。

### ② 当社の財産及び損益の状況推移

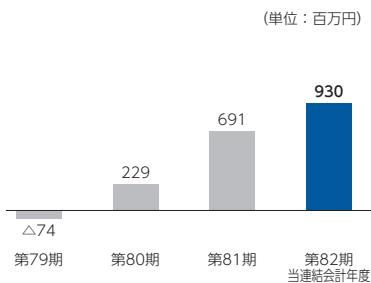
区 分	第79期 2021年3月期	第80期 2022年3月期	第81期 2023年3月期	第82期 (当事業年度) 2024年3月期
売上高 (百万円)	46,204	47,432	52,580	59,042
営業利益又は営業損失 (△) (百万円)	△98	△109	324	658
経常利益 (百万円)	238	174	689	1,138
当期純利益 (百万円)	547	35	468	1,515
1株当たり当期純利益 (円)	52.93	3.44	45.94	148.24
総資産 (百万円)	41,064	37,058	40,519	43,099
純資産 (百万円)	18,111	15,679	16,655	18,090

(注) 1株当たり当期純利益は、期中平均発行済株式数（自己株式数を控除した株式数）により算出しております。

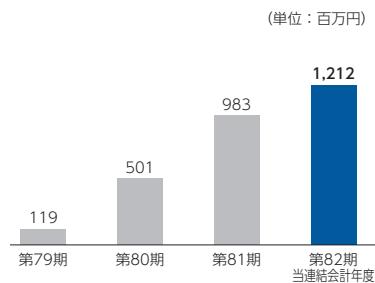
### ■ 売上高



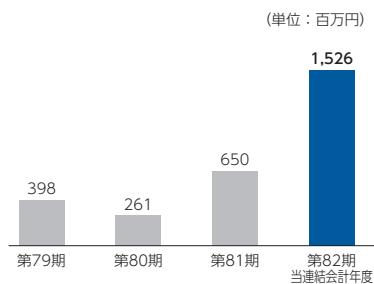
### ■ 営業利益



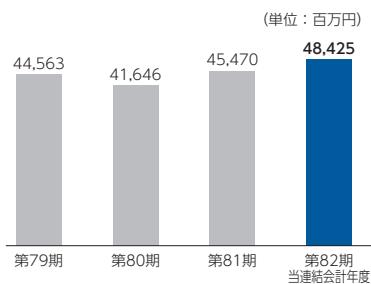
### ■ 経常利益



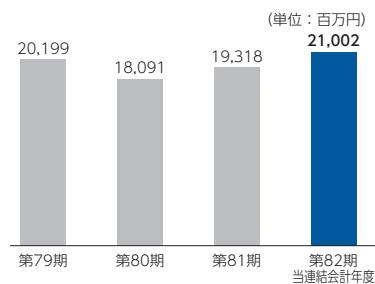
### ■ 親会社株主に帰属する当期純利益



### ■ 総資産



### ■ 純資産



## (6) 重要な子会社の状況

### ① 重要な子会社の状況

会 社 名	資 本 金	当社の議決権比率	主 要 な 事 業 内 容
サンマルコ株式会社	百万円 65	100.0%	外装・内装の塗装工事及び防水工事、住宅リフォーム工事、窓用フィルム・内装材の販売及び施工
オーウェルスーパービルド株式会社	20	100.0	土木・建築工事の設計、監理及びとび・土工・コンクリート工事、塗装工事等の請負
オー・エー・シー株式会社	20	100.0	建設重機・産業用ロボット・一般金属類の塗装
株式会社オーウェルカラーセンター	20	100.0	塗料調色・塗板見本製作
オーウェル 奥唯（大連）貿易有限公司	千米ドル 910	100.0	塗料、化学工業製品、塗装機器・設備、計測機器、電気・電子部品の卸売及び輸出入
PT. O WELL INDONESIA	千米ドル 750	100.0 [1.0]	塗料、化学工業製品、塗装機器・設備、計測機器、電気・電子部品の卸売及び輸出入
オーウェル 奥唯（上海）貿易有限公司	万人民元 400	100.0	塗料、化学工業製品、塗装機器・設備、計測機器、電気・電子部品の卸売及び輸出入
O-WELL VIETNAM CO.,LTD.	千米ドル 800	100.0	塗料、化学工業製品、塗装機器・設備、計測機器、電気・電子部品の卸売及び輸出入
O-WELL MEXICO COATINGS & ELECTRONICS S.A. DE C.V.	百万メキシコペソ 45.9	100.0 [0.0]	塗料、化学工業製品、塗装機器・設備、計測機器、電気・電子部品の卸売及び輸出入、一般金属類・プラスチック類の塗装及び加工
O-WELL INDIA COATINGS & ELECTRONICS PRIVATE LIMITED	百万インドルピー 66.5	100.0 [2.0]	塗料、化学工業製品、塗装機器・設備、計測機器、電気・電子部品の卸売及び輸出入
大洋ケミカル株式会社	百万円 50	51.0	各種塗料及び合成樹脂の製造・販売、調色に関するサービス業
ユニ電子株式会社	310	100.0	半導体・集積回路・電子部品の輸出入及び販売

会 社 名	資 本 金	当社の議決権比率	主 要 な 事 業 内 容
O-WELL KOREA CORPORATION	百万韓国ウォン 700	100.0	塗料、化学工業製品、塗装機器・設備、計測機器、電気・電子部品の卸売及び輸出入
O-WELL (THAILAND) CO.,LTD.	百万タイバーツ 16	49.0	塗料、化学工業製品、塗装機器・設備、計測機器、電気・電子部品の卸売及び輸出入
オーウェル 奥唯（深圳）科技貿易有限公司	万人民币元 350	100.0	塗料、化学工業製品、塗装機器・設備、計測機器、電気・電子部品の卸売及び輸出入
UNI-ELECTRONICS PTE LTD.	千シンガポールドル 50	100.0 [100.0]	半導体・集積回路・電子部品の輸出入及び販売
UNI-ELECTRONICS (HONG KONG) LTD.	千香港ドル 500	100.0 [100.0]	半導体・集積回路・電子部品の輸出入及び販売

- (注) 1. 当社の連結子会社は上記の重要な子会社17社であり、持分法適用会社は4社であります。  
2. 「当社の議決権比率」欄の[内書]は間接所有であります。  
3. O-WELL (THAILAND) CO.,LTD.は当社の議決権比率が49.0%であります。実質的に支配している子会社であります。  
4. O-WELL INDIA COATINGS & ELECTRONICS PRIVATE LIMITEDは、2024年3月7日付けで新たに設立いたしました。  
5. O-WELL GERMANY GmbHは、2024年3月28日付けで会社譲渡したことに伴い、連結子会社から除外しております。

- ② 事業年度末日における特定完全子会社の状況  
該当事項はありません。

## (7) 主要な事業内容

塗料、表面処理剤、塗装関連機器・設備、意匠・保護フィルム等の販売及び電気・電子部品等の販売並びに、それらに付帯する各種工事の請負及び設計・監理

## (8) 主要な事業所

### ① 当社

本 社 大阪市西淀川区御幣島五丁目13番9号  
営業所等 仙台、新潟、栃木（下野市）、群馬（太田市）、太田、つくば（石岡市）、埼玉（狭山市）、鹿島（鹿嶋市）、千葉、君津（木更津市）、東京店（品川区）、神奈川（座間市）、追浜（横須賀市）、浜松（周智郡）、三河（安城市）、名古屋、京滋（栗東市）、大阪、泉北（泉大津市）、播磨（加古川市）、水島（倉敷市）、丸亀、尾道・福山（尾道市）、広島、北九州（京都郡）、長崎・有明（長崎市）

### ② 子会社

国 内 サンマルコ株式会社（本社：相模原市）  
オーウエルスーパービルド株式会社（本社：岡山市）  
オー・エー・シー株式会社（本社：品川区）  
株式会社オーウエルカラーセンター（本社：野田市）  
大洋ケミカル株式会社（本社：船橋市）  
ユニ電子株式会社（本社：品川区）  
海 外 奥唯（大連）貿易有限公司（中国大連市）  
PT. O WELL INDONESIA（インドネシア西ジャワ州ブカシ県）  
奥唯（上海）貿易有限公司（中国上海市）  
O-WELL VIETNAM CO.,LTD.（ベトナムハノイ市）  
O-WELL MEXICO COATINGS & ELECTRONICS S.A. DE C.V.（メキシコグアナファト州）  
O-WELL INDIA COATINGS & ELECTRONICS PRIVATE LIMITED（インドハリヤーナー州）  
O-WELL KOREA CORPORATION（韓国龍仁市）  
O-WELL (THAILAND) CO.,LTD.（タイバンコク市）  
奥唯（深圳）科技貿易有限公司（中国深圳市）  
UNI-ELECTRONICS PTE LTD.（シンガポール）  
UNI-ELECTRONICS (HONG KONG) LTD.（中国香港）

## (9) 従業員の状況

従業員数	前連結会計年度末比増減
636名	12名増

- (注) 1. 従業員数は、当社グループから当社グループ外への出向者を除き、当社グループ外から当社グループへの出向者を含む就業人員数であります。
2. 上記従業員数には、臨時従業員98名は含まれておりません。
3. 臨時従業員には、季節工、パートタイマー及び嘱託契約の従業員を含み、派遣社員を除いております。

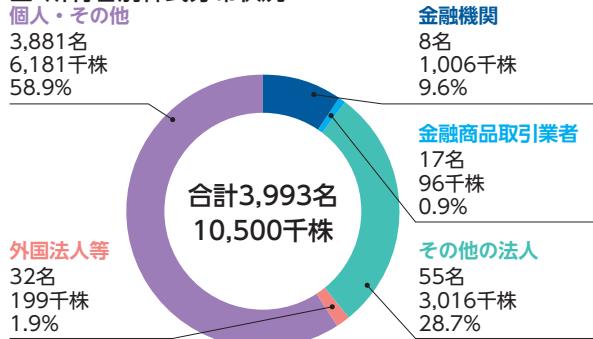
## (10) 主要な借入先

主要な借入先	借入額
	百万円
株式会社三菱UFJ銀行	1,905
株式会社三井住友銀行	980
株式会社みずほ銀行	545

## 2 会社の株式に関する事項

- (1) 発行可能株式総数 42,000,000株  
 (2) 発行済株式の総数 10,500,000株  
 (3) 株 主 数 3,993名

### 所有者別株式分布状況



### (4) 大 株 主

株 主 名	持 株 数 千株	持 株 比 率 %
オ ー ウ エ ル 従 業 員 持 株 会	1,451	14.1
日 本 ペ イ ン ト 株 式 会 社	900	8.7
関 西 ペ イ ン ト 株 式 会 社	700	6.8
大 日 本 塗 料 株 式 会 社	550	5.3
株 式 会 社 三 菱 U F J 銀 行	420	4.1
宮 本 文 義	260	2.5
株 式 会 社 三 井 住 友 銀 行	200	1.9
三 菱 U F J 信 託 銀 行 株 式 会 社	200	1.9
豊 田 み ど り	123	1.2
片 山 武 宏	115	1.1

- (注) 1. 持株比率は、小数点第2位以下を切り捨てて表示しております。  
 2. 持株比率は、自己株式(272,177株)を控除して計算しております。

**(5) 当事業年度中に職務執行の対価として当社役員等に対して交付した株式の状況**

取締役（社外取締役及び監査等委員である取締役を除く。）及び取締役に兼務しない執行役員に交付した株式の区分別合計

区 分	株 式 数	交 付 対 象 者
取締役（社外取締役及び監査等委員である取締役を除く。）	16,082株	5名
取締役に兼務しない執行役員	5,109株	7名

**(6) その他株式に関する重要な事項**

該当する事項はありません。

### **3 会社の新株予約権等に関する事項**

**(1) 当社役員が保有している職務執行の対価として交付された新株予約権の状況**

該当事項はありません。

**(2) 当事業年度中に職務執行の対価として当社使用人等に交付した新株予約権等の状況**

該当事項はありません。

**(3) その他新株予約権等に関する重要な事項**

該当事項はありません。

## 4 会社役員に関する事項

### (1) 取締役の氏名等 (2024年3月31日現在)

氏名	地位	担当及び重要な兼職の状況
飛 戸 克 治	取 締 役 会 長	
川 戸 康 晴	※取 締 役 社 長	
原 一 裕	常 務 取 締 役	営業部門管掌
大 野 善 崇	常 務 取 締 役	業務部門管掌
冠 一 基	取 締 役	営業部門管掌補佐 東日本販売部担当 東日本販売部長
榎 宏	取 締 役	
鳴 島 健 二	取 締 役	株式会社ミックウェア 代表取締役社長兼会長
西 川 周 平	取 締 役 (常勤監査等委員)	
坪 田 聡 司	取 締 役 (監 査 等 委 員)	公認会計士 税理士 株式会社エクセディ 社外監査役
渡 辺 徹	取 締 役 (監 査 等 委 員)	弁護士 弁護士法人北浜法律事務所 代表社員 粧美堂株式会社 社外取締役 (監査等委員) 青山商事株式会社 社外取締役

- (注) 1. ※は、代表取締役であります。
2. 取締役のうち、榎宏、鳴島健二、坪田聡司及び渡辺徹の各氏は、社外取締役であります。
3. 当社は、監査等委員の監査・監督機能を強化し、取締役（監査等委員である取締役を除く。）からの情報収集及び重要な社内会議における情報共有並びに内部監査部門と監査等委員会との十分な連携を可能にするため、西川周平氏を常勤の監査等委員として選定しております。
4. 取締役（監査等委員）坪田聡司氏は、公認会計士の資格を有しており、財務及び会計に関する相当程度の知見を有するものであります。
5. 当社は、取締役榎宏、鳴島健二、坪田聡司及び渡辺徹の各氏を東京証券取引所の定めに基づく独立役員として指定し、同取引所に届け出ております。

6. 2023年6月21日開催の第81回定時株主総会後の取締役会決議により、取締役飛戸克治氏は、取締役会長に、取締役川戸康晴氏は、代表取締役社長に選定され、それぞれ就任いたしました。また、以下の取締役の地位及び担当の異動がありました。

氏名	地位及び担当の状況	
	変更後	変更前
飛戸克治	取締役会長	代表取締役会長

**(2) 当事業年度末日後に生じた取締役の地位及び担当の異動**

2024年4月1日付けで取締役の地位及び担当が次のとおり変更されました。

氏名	地位及び担当の状況	
	変更後	変更前
原一裕	常務取締役 営業部門管掌 塗膜形成部 担当	常務取締役 営業部門管掌

### (3) 執行役員の氏名等

当社は執行役員制度を導入しており、2024年4月1日付けで、取締役会で選任された執行役員は次のとおりであります。

氏名	地位	担当
野崎 武	執行役員	経営企画室担当 経営企画室長
秋谷 浩史	執行役員	総務部・品質保証部担当
山田 麻紀子	執行役員	人事部・経理部担当 経理部長
大森 一樹	執行役員	事業企画部・営業推進部担当 営業推進部長
井幡 恵明	執行役員	西日本販売部担当 西日本販売部長
藤岡 光司	執行役員	エレクトロニクス部担当 エレクトロニクス部長

- (注) 1. 執行役員は、従業員であります。  
2. 執行役員の任期は1年とし、再任を妨げません。

### (4) 責任限定契約の内容の概要

当社は、社外取締役及び監査等委員である取締役全員との間で、会社法第427条第1項の規定に基づき、同法第423条第1項の損害賠償責任を限定する契約を締結しており、当該契約に基づく損害賠償責任の限度額は、法令で定める最低責任限度額となっております。

### (5) 役員等賠償責任保険契約の内容の概要

当社は、会社法第430条の3第1項に規定する役員等賠償責任保険（D&O保険）契約を保険会社との間で締結しております。当該保険契約の被保険者の範囲は、当社の取締役及び執行役員並びに当社子会社の取締役及び監査役であり、被保険者は保険料を負担しておりません。当該保険契約では、役員等がその職務の執行に関し責任を負うこと、または当該責任の追及に係る請求を受けることによって生じる損害について補填する契約内容となっております。ただし、法令違反の行為であることを認識して行った行為に起因して生じた損害は補填されないなど、一定の免責事由があります。

## (6) 取締役の報酬等

### ① 取締役の個人別の報酬等の内容に係る決定方針に関する事項

当社は、2021年2月12日開催の取締役会において、下記のとおり、取締役の個人別の報酬等の内容に係る決定方針（以下、「決定方針」という。）を定めております。

#### a. 基本方針

取締役は、当社の持続的成長と中長期的な企業価値向上をめざし、その報酬は、各取締役の役位及び貢献度並びに業績及び経営環境を十分勘案して決定することを基本方針としております。

具体的には、業務執行取締役の報酬は、固定報酬としての基本報酬、業績連動報酬等（非金銭報酬等を含む）により構成しており、監査監督機能を担う社外取締役及び監査等委員である取締役については、その職務に鑑み、基本報酬のみを支払うこととしております。

#### b. 基本報酬（金銭報酬）の個人別の報酬等の額の決定に関する方針（報酬等を与える時期または条件の決定に関する方針を含む。）

当社の取締役の基本報酬は、月例の固定報酬とし、役割及び責務に応じて他社水準、当社の業績、従業員給与の水準等を考慮しながら、総合的に勘案して決定するものとしております。

なお、取締役（監査等委員である取締役を除く。）の報酬等の限度額は、年額3億円以内（うち社外取締役分は年額4千万円以内）としており、監査等委員である取締役の報酬等の限度額は、年額5千万円以内としております。

#### c. 業績連動報酬等並びに非金銭報酬等の内容及び額または数の算定方法の決定に関する方針（報酬等を与える時期または条件の決定に関する方針を含む。）

業績連動報酬等のうち金銭報酬については、事業年度ごとの業績向上に対する意識を高めるため、業績指標（KPI）を反映した現金報酬としております。目標となる業績指標とその値は、中期経営計画と整合するよう計画策定時に設定し、適宜、環境の変化に応じて見直しを行うものとしております。

業績指標に関しては、中長期的な企業価値向上につながる中期経営計画の目標達成度、本業の儲けを表す連結営業利益、株主の皆様への利益還元に直結する連結当期純利益を設定しております。

なお、本指標の実績に関しましては、P.20 「(5) 財産及び損益の状況」に記載のとおりです。

業績連動報酬等のうち非金銭報酬等は、譲渡制限付株式とし、当社の取締役（社外取締役及び監査等委員である取締役を除く。以下「対象取締役」という。）に対して、当社の企業価値の持続的な向上を図るインセンティブを与えるとともに、株主の皆様との一層の価値共有を進めることを目的として、譲渡制限付株式の付与のための報酬を支給するものとしております。

対象取締役に対して譲渡制限付株式の付与のために支給する報酬は金銭債権（以下「金銭報酬債権」という。）とし、その総額は、上記の目的を踏まえ相当と考えられる金額として、年額6千万円以内とするものとしております。

また、各対象取締役への具体的な支給時期及び配分については、取締役会において決定し、毎年一定の時期に付与するものとしております。

対象取締役は、当社の取締役会決議に基づき、本議案により支給される金銭報酬債権の全部を現物出資財産として払込み、当社の普通株式について発行または処分を受けるものとし、これにより発行または処分をされる当社の普通株式の総数は年60,000株以内（ただし、当社の普通株式の株式分割（当社の普通株式の無償割当てを含む。）または株式併合が行われた場合その他譲渡制限付株式として発行または処分をされる当社の普通株式の総数の調整が必要な事由が生じた場合には、当該総数を、合理的な範囲で調整する。）としております。

なお、その1株当たりの払込金額は各取締役会決議の日の前営業日における東京証券取引所における当社の普通株式の終値（同日に取引が成立していない場合は、それに先立つ直近取引日の終値）を基礎として当該普通株式を引き受ける対象取締役に特に有利な金額とならない範囲において、取締役会において決定いたします。また、これによる当社の普通株式の発行または処分にあたっては、当社と対象取締役との間で、譲渡制限付株式割当契約を締結いたします。

- d. 金銭報酬の額、業績連動報酬等の額または非金銭報酬等の額の取締役の個人別の報酬等の額に対する割合の決定に関する方針

取締役の報酬等の種類ごとの比率の目安は、基本報酬：業績連動報酬等（非金銭報酬等を含む）＝6：4とする（KPIを100%達成の場合）。

- e. 取締役の個人別の報酬等の内容についての決定に関する事項

取締役（監査等委員である取締役を除く。）の個人別の報酬額については、取締役会決議に基づき、代表取締役社長 川戸康晴が取締役会からの委任を受けて、株主総会で決議された報酬総額の範囲内において、基本方針及び取締役報酬基準内規に基づき、担当職務、各期の業績、業績の達成度等を総合的に勘案して原案を作成し、社外取締役を委員長とし、社外取締役が過半数を占める指名・報酬委員会の答申を踏まえ決定いたします。代表取締役社長に委任した理由は、当社全体の業績を俯瞰しつつ、各取締役の担当領域や職責の評価を行うには代表取締役社長が最も適しているからであります。

監査等委員である取締役の報酬は、株主総会で決議された報酬総額の範囲内において、取締役報酬基準内規に基づき、常勤、社外の別に応じた職務内容を勘案し、監査等委員の協議により決定いたします。

これらの手続きを経て取締役の個人別の報酬額が決定されていることから、取締役会はその内容が決定方針に沿うものであり、相当であると判断しております。

② 取締役の報酬等についての株主総会の決議に関する事項

取締役（監査等委員である取締役を除く。）の報酬等の額は、2020年6月23日開催の第78回定時株主総会において、年額3億円以内（うち社外取締役分は年額4千万円以内）と決議されております（使用人兼務取締役の使用人分給与は含まない）。当該定時株主総会終結時点の取締役（監査等委員である取締役を除く。）の員数は6名（うち社外取締役は2名）です。

また、上記報酬等とは別枠で、2020年6月23日開催の第78回定時株主総会において、当社の取締役（社外取締役及び監査等委員である取締役を除く。）に対して、譲渡制限付株式報酬の額を年額6千万円以内、株式数の上限を年60,000株以内と決議しております。当該定時株主総会終結時点の取締役（社外取締役及び監査等委員である取締役を除く。）の員数は4名です。

監査等委員である取締役の報酬等の額は、2020年6月23日開催の第78回定時株主総会において、年額5千万円以内と決議されております。当該定時株主総会終結時点の監査等委員である取締役の員数は3名（うち社外取締役は2名）です。

③ 取締役の報酬等の額

役員区分	報酬等の 総額 (百万円)	報酬等の種類別の総額(百万円)			対象となる 役員の員数 (人)
		基本報酬	業績連動報酬等	非金銭報酬等	
取締役（監査等委員である 取締役を除く。） （うち社外取締役）	164 (14)	115 (14)	36 (-)	12 (-)	7 (2)
監査等委員である取締役 （うち社外取締役）	35 (15)	35 (15)	-	-	3 (2)

(注) 非金銭報酬等として取締役（社外取締役及び監査等委員である取締役を除く。）に対して株式報酬を交付しております。当該株式報酬の交付状況は、P.27 「2. 会社の株式に関する事項 (5) 当事業年度中に職務執行の対価として当社役員等に対して交付した株式の状況」に記載のとおりです。

## (7) 社外役員に関する事項

### ① 重要な兼職先である法人等と当社との関係

取締役鳴島健二氏は、株式会社ミックウェアの代表取締役社長兼会長を兼務しております。なお、当社は同社の株式を4.3%保有しており、同社との間で資本提携を行っております。

取締役（監査等委員）坪田聡司氏は、株式会社エクセディの社外監査役を兼務しております。なお、当社と同社との間には特別の関係はありません。

取締役（監査等委員）渡辺徹氏は、弁護士法人北浜法律事務所の代表社員及び粧美堂株式会社の社外取締役（監査等委員）並びに青山商事株式会社の社外取締役を兼務しております。なお、当社と弁護士法人北浜法律事務所との間に法律顧問契約に基づく役務提供等の取引関係があります。また、当社と粧美堂株式会社及び青山商事株式会社との間には特別の関係はありません。

② 取締役会等への出席状況及び発言状況

取締役 榎宏氏

当事業年度中に開催された取締役会14回すべてに出席し、主に会社経営者として培った企業価値向上のための品質、環境、コーポレート・ガバナンス等の知識・見地からの発言を行っております。また、指名・報酬委員会委員長を務め、取締役候補者の選定や報酬等、経営上の重要事項で取締役会が必要と認めた事項について審議し、取締役会に答申するにあたり、独立した客観的立場から重要な役割を果たしております。

取締役 鳴島健二氏

当事業年度中に開催された取締役会14回すべてに出席し、主に会社経営者として培った豊富な経験と幅広い見識をもとに今後の事業の拡大を見据えた知識・見地からの発言を行っております。また、指名・報酬委員会委員を務め、取締役候補者の選定や報酬等、経営上の重要事項で取締役会が必要と認めた事項について審議し、取締役会に答申するにあたり、独立した客観的立場から重要な役割を果たしております。

取締役（監査等委員） 坪田聡司氏

当事業年度中に開催された取締役会14回すべてに出席し、また、当事業年度中に開催された監査等委員会14回すべてに出席し、主に公認会計士としての専門的見地からの発言を行うことなどにより、独立した客観的立場から経営陣の監督を務めております。

取締役（監査等委員） 渡辺徹氏

当事業年度中に開催された取締役会14回のうち13回に出席し、また、当事業年度中に開催された監査等委員会14回すべてに出席し、主に弁護士としての専門的見地からの発言を行うことなどにより、独立した客観的立場から経営陣の監督を務めております。

## 5 会計監査人に関する事項

### (1) 会計監査人の名称

有限責任 あずさ監査法人

### (2) 報酬等の総額

当事業年度に係る会計監査人の報酬等の額	35,800千円
当社及び当社子会社が会計監査人に支払うべき金銭その他の財産上の利益の合計額	35,800千円

- (注) 1. 当社と会計監査人との間の監査契約において、会社法に基づく監査と金融商品取引法に基づく監査の監査報酬等の額を明確に区分しておらず、実質的にも区分できませんので、当該事業年度に係る報酬等の額にはこれらの合計額を記載しております。
2. 当社の重要な子会社のうち、奥唯(大連)貿易有限公司、PT. O WELL INDONESIA、奥唯(上海)貿易有限公司、O-WELL VIETNAM CO.,LTD.、O-WELL (THAILAND) CO.,LTD.、奥唯(深圳)科技貿易有限公司、UNI-ELECTRONICS PTE LTD.、UNI-ELECTRONICS (HONG KONG) LTD.は、当社の会計監査人以外の監査法人の監査を受けております。

### (3) 会計監査人の報酬等に監査等委員会が同意した理由

監査等委員会は、取締役、社内関係部署及び会計監査人より必要な資料を入手、報告を受け、会計監査人の監査計画の内容、前期の監査及び報酬の実績推移、報酬見積りの相当性などを確認し、検討した結果、会計監査人の報酬等の額につき会社法第399条第1項の同意をいたしました。

### (4) 会計監査人の解任または不再任の決定の方針

監査等委員会は、会計監査人の職務の執行に支障がある場合等、その必要があると判断した場合は、株主総会に提出する会計監査人の解任又は不再任に関する議案の内容を決定いたします。

また、監査等委員会は、会計監査人が会社法第340条第1項各号のいずれかに該当すると認められる場合は、監査等委員全員の同意に基づき、会計監査人を解任いたします。この場合、監査等委員会が選定した監査等委員は、解任後最初に招集される株主総会において、会計監査人を解任した旨と解任の理由を報告いたします。

## (5) 責任限定契約の内容の概要

当社と会計監査人である有限責任 あずさ監査法人は、会社法第423条第1項の責任につき、善意でかつ重大な過失がないときは、会計監査人の報酬等の額の事業年度ごとの合計額のうち最も高い額に2を乗じて得た金額または会社法第425条第1項に規定する最低責任限度額のいずれか高い額をもって責任を負担する旨を定めた契約を締結しております。

---

(注) 本事業報告に記載の金額は、表示単位未満の端数を切り捨てて表示しております。  
また、比率は表示単位未満を四捨五入しております。

# 連結計算書類

## 連結貸借対照表 (2024年3月31日現在)

科 目	第82期 (2024年3月31日現在)	(ご参考) 第81期 (2023年3月31日現在)	科 目	第82期 (2024年3月31日現在)	(ご参考) 第81期 (2023年3月31日現在)
(資産の部)	百万円	百万円	(負債の部)	百万円	百万円
<b>流動資産</b>			<b>流動負債</b>		
現金及び預金	6,393	4,360	支払手形及び買掛金	14,084	15,668
受取手形	916	1,217	電子記録債務	2,772	847
売掛金	13,220	13,162	短期借入金	2,976	2,014
電子記録債権	4,557	3,943	1年内返済予定の長期借入金	200	1,200
棚卸資産	6,021	6,179	未払法人税等	632	201
その他	428	801	契約負債	341	536
貸倒引当金	△7	△7	賞与引当金	477	452
			品質保証引当金	-	12
			その他	1,305	1,044
<b>流動資産合計</b>	<b>31,530</b>	<b>29,657</b>	<b>流動負債合計</b>	<b>22,790</b>	<b>21,978</b>
<b>固定資産</b>			<b>固定負債</b>		
<b>有形固定資産</b>			長期借入金	1,450	1,150
建物及び構築物	1,526	1,593	退職給付に係る負債	206	191
機械装置及び運搬具	147	110	役員退職慰労引当金	85	77
工具、器具及び備品	57	51	繰延税金負債	2,682	2,539
土地	1,833	1,882	資産除去債務	42	42
リース資産	84	59	その他	163	172
<b>有形固定資産合計</b>	<b>3,650</b>	<b>3,696</b>	<b>固定負債合計</b>	<b>4,631</b>	<b>4,173</b>
<b>無形固定資産</b>			<b>負債合計</b>	<b>27,422</b>	<b>26,151</b>
ソフトウェア	341	421	(純資産の部)		
のれん	11	17	<b>株主資本</b>		
その他	42	39	資本金	857	857
<b>無形固定資産合計</b>	<b>395</b>	<b>478</b>	資本剰余金	766	761
<b>投資その他の資産</b>			利益剰余金	12,976	11,756
投資有価証券	11,410	10,500	自己株式	△151	△163
長期貸付金	87	86	<b>株主資本合計</b>	<b>14,448</b>	<b>13,211</b>
退職給付に係る資産	881	629	その他の包括利益累計額		
繰延税金資産	144	86	その他有価証券評価差額金	5,860	5,683
その他	406	415	繰延ヘッジ損益	△6	△39
貸倒引当金	△81	△81	為替換算調整勘定	335	218
			退職給付に係る調整累計額	209	88
<b>投資その他の資産合計</b>	<b>12,848</b>	<b>11,637</b>	<b>その他の包括利益累計額合計</b>	<b>6,398</b>	<b>5,952</b>
<b>固定資産合計</b>	<b>16,895</b>	<b>15,812</b>	<b>非支配株主持分</b>	<b>155</b>	<b>153</b>
<b>資産合計</b>	<b>48,425</b>	<b>45,470</b>	<b>純資産合計</b>	<b>21,002</b>	<b>19,318</b>
			<b>負債・純資産合計</b>	<b>48,425</b>	<b>45,470</b>

## 連結損益計算書 (2023年4月1日から2024年3月31日まで)

科 目	第82期 (2023年4月1日から 2024年3月31日まで)	(ご参考) 第81期 (2022年4月1日から 2023年3月31日まで)
	百万円	百万円
売上高	71,049	64,329
売上原価	62,369	56,239
売上総利益	8,679	8,089
販売費及び一般管理費	7,749	7,398
営業利益	930	691
営業外収益	357	358
受取利息	5	6
受取配当金	241	211
持分法による投資利益	42	47
為替差益	11	14
その他	57	78
営業外費用	75	66
支払利息	42	30
コミットメントフィー	8	8
その他	24	26
経常利益	1,212	983
特別利益	1,028	34
投資有価証券売却益	1,024	34
関係会社出資金売却益	3	—
特別損失	23	37
減損損失	20	24
固定資産売却損	2	—
固定資産除却損	0	4
投資有価証券評価損	0	7
税金等調整前当期純利益	2,217	980
法人税、住民税及び事業税	746	268
法人税等調整額	△55	42
法人税等合計	690	311
当期純利益	1,526	668
非支配株主に帰属する当期純利益又は非支配株主に帰属する当期純損失 (△)	△0	18
親会社株主に帰属する当期純利益	1,526	650

## 連結株主資本等変動計算書 (2023年4月1日から2024年3月31日まで)

単位：百万円

	株 主 資 本				
	資 本 金	資 本 剰 余 金	利 益 剰 余 金	自 己 株 式	株 主 資 本 合 計
当 期 首 残 高	857	761	11,756	△163	13,211
当 期 変 動 額					
剰 余 金 の 配 当			△306		△306
親会社株主に帰属する 当 期 純 利 益			1,526		1,526
自己株式の処分		5		11	16
株主資本以外の項目の 当 期 変 動 額 (純 額)					－
当 期 変 動 額 合 計	－	5	1,220	11	1,237
当 期 末 残 高	857	766	12,976	△151	14,448

	その他の包括利益累計額					非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ損益	為 替 換 算 調 整 額	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利益 累計額合計		
当 期 首 残 高	5,683	△39	218	88	5,952	153	19,318
当 期 変 動 額							
剰 余 金 の 配 当							△306
親会社株主に帰属する 当 期 純 利 益							1,526
自己株式の処分							16
株主資本以外の項目の 当 期 変 動 額 (純 額)	176	33	116	120	446	1	447
当 期 変 動 額 合 計	176	33	116	120	446	1	1,684
当 期 末 残 高	5,860	△6	335	209	6,398	155	21,002

# 計算書類

## 貸借対照表

(2024年3月31日現在)

科 目	第82期 (2024年3月31日現在)	(ご参考) 第81期 (2023年3月31日現在)
(資産の部)	百万円	百万円
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	4,058	2,762
受取手形	875	1,196
売掛金	11,001	10,460
電子記録債権	4,363	3,701
商賈品	4,948	5,202
短期貸付金	468	550
その他の貸倒引当金	626	655
	△0	△10
<b>流動資産合計</b>	<b>26,341</b>	<b>24,519</b>
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物	1,330	1,399
構築物	96	92
機械及び装置	59	45
車両運搬具	0	0
工具、器具及び備品	37	32
土地	1,833	1,882
<b>有形固定資産合計</b>	<b>3,357</b>	<b>3,452</b>
<b>無形固定資産</b>		
ソフトウェア	335	417
その他	39	37
<b>無形固定資産合計</b>	<b>374</b>	<b>455</b>
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	10,878	10,270
関係会社株式	889	614
関係会社出資金	326	326
長期貸付金	105	105
前払年費用	560	493
その他の貸倒引当金	342	358
	△77	△77
<b>投資その他の資産合計</b>	<b>13,025</b>	<b>12,091</b>
<b>固定資産合計</b>	<b>16,757</b>	<b>15,999</b>
<b>資産合計</b>	<b>43,099</b>	<b>40,519</b>

科 目	第82期 (2024年3月31日現在)	(ご参考) 第81期 (2023年3月31日現在)
(負債の部)	百万円	百万円
<b>流動負債</b>		
支払手形	227	1,774
買掛金	12,906	12,503
電子記録債務	2,772	847
短期借入金	2,080	1,580
1年内返済予定の長期借入金	200	1,200
未払金	613	580
未払費用	173	113
未払法人税等	496	154
契約負債	333	525
預り金	495	360
与引当金	363	346
品質保証引当金	-	12
その他	198	75
<b>流動負債合計</b>	<b>20,862</b>	<b>20,075</b>
<b>固定負債</b>		
長期借入金	1,450	1,150
長期未払金	78	104
繰延税金負債	2,550	2,456
その他	67	76
<b>固定負債合計</b>	<b>4,146</b>	<b>3,788</b>
<b>負債合計</b>	<b>25,008</b>	<b>23,863</b>
(純資産の部)		
<b>株主資本</b>		
資本金	857	857
資本剰余金		
資本準備金	529	529
その他資本剰余金	236	231
<b>資本剰余金合計</b>	<b>766</b>	<b>761</b>
<b>利益剰余金</b>		
利益準備金	214	214
その他利益剰余金		
別途積立金	3,000	3,000
固定資産圧縮積立金	183	189
繰越利益剰余金	7,365	6,151
<b>利益剰余金合計</b>	<b>10,764</b>	<b>9,555</b>
<b>自己株式</b>	<b>△151</b>	<b>△163</b>
<b>株主資本合計</b>	<b>12,236</b>	<b>11,010</b>
<b>評価・換算差額等</b>		
その他有価証券評価差額金	5,860	5,683
繰延ヘッジ損益	△6	△39
<b>評価・換算差額等合計</b>	<b>5,854</b>	<b>5,644</b>
<b>純資産合計</b>	<b>18,090</b>	<b>16,655</b>
<b>負債・純資産合計</b>	<b>43,099</b>	<b>40,519</b>

## 損益計算書 (2023年4月1日から2024年3月31日まで)

科 目		第82期 (2023年4月1日から 2024年3月31日まで)	(ご参考) 第81期 (2022年4月1日から 2023年3月31日まで)
		百万円	百万円
売 上 高		59,042	52,580
売 上 原 価		52,283	46,400
	利 益	6,758	6,180
販売費及び一般管理費		6,099	5,856
	営 業 利 益	658	324
営 業 外 収 益		523	421
受 取 利 息		17	5
受 取 配 当 金		391	313
為 替 差 益 他		36	21
そ の 他		78	79
営 業 外 費 用		43	56
支 払 利 息		16	15
貸 倒 引 当 金 繰 入 額		5	13
コ ミ ッ ト メ ン ト フ ィ ー		8	8
そ の 他		13	18
	経 常 利 益	1,138	689
特 別 利 益		1,024	34
投 資 有 価 証 券 売 却 益		1,024	34
特 別 損 失		65	66
減 損 損 失		20	24
固 定 資 産 売 却 損		2	—
固 定 資 産 除 却 損		0	4
投 資 有 価 証 券 評 価 損		0	7
関 係 会 社 出 資 金 評 価 損		—	28
関 係 会 社 出 資 金 売 却 損		0	—
関 係 会 社 債 権 放 棄 損		42	—
	税 引 前 当 期 純 利 益	2,097	656
法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税		577	171
法 人 税 等 調 整 額		4	16
	法 人 税 等 合 計	582	188
	当 期 純 利 益	1,515	468

# 株主資本等変動計算書 (2023年4月1日から2024年3月31日まで)

単位：百万円

	株 主 資 本										
	資本金	資 本 剰 余 金			利 益 剰 余 金					自己株式	株主資本計 合
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金計	利益準備金	その他利益剰余金			利益剰余金計		
						別途積立金	固定資産圧縮積立金	繰越利益剰余金			
当期首残高	857	529	231	761	214	3,000	189	6,151	9,555	△163	11,010
当期変動額											
剰余金の配当								△306	△306		△306
固定資産圧縮積立金の取崩							△5	5	—		—
当期純利益								1,515	1,515		1,515
自己株式の処分			5	5						11	16
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)											—
当期変動額合計	—	—	5	5	—	—	△5	1,214	1,208	11	1,225
当期末残高	857	529	236	766	214	3,000	183	7,365	10,764	△151	12,236

	評価・換算差額等			純資産合計
	その他 有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	評価・換算 差額等合計	
当期首残高	5,683	△39	5,644	16,655
当期変動額				
剰余金の配当				△306
固定資産圧縮積立金の取崩				—
当期純利益				1,515
自己株式の処分				16
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	176	33	209	209
当期変動額合計	176	33	209	1,435
当期末残高	5,860	△6	5,854	18,090

# 連結計算書類に係る会計監査人の監査報告書

## 独立監査人の監査報告書

2024年5月16日

オーウエル株式会社  
取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人  
大阪事務所

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 余 野 憲 司  
指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 江 崎 真 護

### 監査意見

当監査法人は、会社法第444条第4項の規定に基づき、オーウエル株式会社の2023年4月1日から2024年3月31日までの連結会計年度の連結計算書類、すなわち、連結貸借対照表、連結損益計算書、連結株主資本等変動計算書及び連結注記表について監査を行った。

当監査法人は、上記の連結計算書類が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、オーウエル株式会社及び連結子会社からなる企業集団の当該連結計算書類に係る期間の財産及び損益の状況を、全ての重要な点において適正に表示しているものと認める。

### 監査意見の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準における当監査法人の責任は、「連結計算書類の監査における監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、会社及び連結子会社から独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

### その他の記載内容

その他の記載内容は、事業報告及びその附属明細書である。経営者の責任は、その他の記載内容を作成し開示することにある。また、監査等委員会の責任は、その他の記載内容の報告プロセスの整備及び運用における取締役の職務の執行を監視することにある。

当監査法人の連結計算書類に対する監査意見の対象にはその他の記載内容は含まれておらず、当監査法人はその他の記載内容に対して意見を表明するものではない。

連結計算書類の監査における当監査法人の責任は、その他の記載内容を通読し、通読の過程において、その他の記載内容と連結計算書類又は当監査法人が監査の過程で得た知識との間に重要な相違があるかどうか検討すること、また、そのような重要な相違以外にその他の記載内容に重要な誤りの兆候があるかどうか注意を払うことにある。

当監査法人は、実施した作業に基づき、その他の記載内容に重要な誤りがあると判断した場合には、その事実を報告することが求められている。

その他の記載内容に関して、当監査法人が報告すべき事項はない。

#### 連結計算書類に対する経営者及び監査等委員会との責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して連結計算書類を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない連結計算書類を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

連結計算書類を作成するに当たり、経営者は、継続企業の前提に基づき連結計算書類を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

監査等委員会の責任は、財務報告プロセスの整備及び運用における取締役の職務の執行を監視することにある。

#### 連結計算書類の監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した監査に基づいて、全体としての連結計算書類に不正又は誤謬による重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得て、監査報告書において独立の立場から連結計算書類に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、連結計算書類の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に従って、監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・不正又は誤謬による重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応した監査手続を立案し、実施する。監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。
- ・連結計算書類の監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、監査に関連する内部統制を検討する。
- ・経営者が採用した会計方針及びその適用方法の適切性、並びに経営者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
- ・経営者が継続企業を前提として連結計算書類を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、監査報告書において連結計算書類の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する連結計算書類の注記事項が適切でない場合は、連結計算書類に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、企業は継続企業として存続できなくなる可能性がある。
- ・連結計算書類の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた連結計算書類の表示、構成及び内容、並びに連結計算書類が基礎となる取引や会計事象を適正に表示しているかどうかを評価する。
- ・連結計算書類に対する意見を表明するために、会社及び連結子会社の財務情報に関する十分かつ適切な監査証拠を入手する。監査人は、連結計算書類の監査に関する指示、監督及び実施に関して責任がある。監査人は、単独で監査意見に対して責任を負う。

監査人は、監査等委員会に対して、計画した監査の範囲とその実施時期、監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む監査上の重要な発見事項、及び監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

監査人は、監査等委員会に対して、独立性についての我が国における職業倫理に関する規定を遵守したこと、並びに監査人の独立性に影響を与えると合理的に考えられる事項、及び阻害要因を除去するための対策を講じている場合又は阻害要因を許容可能な水準にまで軽減するためのセーフガードを適用している場合はその内容について報告を行う。

#### 利害関係

会社及び連結子会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

# 会計監査人の監査報告書

## 独立監査人の監査報告書

2024年5月16日

オーウエル株式会社  
取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人  
大阪事務所

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 余 野 憲 司  
指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 江 崎 真 護

### 監査意見

当監査法人は、会社法第436条第2項第1号の規定に基づき、オーウエル株式会社の2023年4月1日から2024年3月31日までの第82期事業年度の計算書類、すなわち、貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書及び個別注記表並びにその附属明細書（以下「計算書類等」という。）について監査を行った。

当監査法人は、上記の計算書類等が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、当該計算書類等に係る期間の財産及び損益の状況を、全ての重要な点において適正に表示しているものと認める。

### 監査意見の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準における当監査法人の責任は、「計算書類等の監査における監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、会社から独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

### その他の記載内容

その他の記載内容は、事業報告及びその附属明細書である。経営者の責任は、その他の記載内容を作成し開示することにある。また、監査等委員会の責任は、その他の記載内容の報告プロセスの整備及び運用における取締役の職務の執行を監視することにある。

当監査法人の計算書類等に対する監査意見の対象にはその他の記載内容は含まれておらず、当監査法人はその他の記載内容に対して意見を表明するものではない。

計算書類等の監査における当監査法人の責任は、その他の記載内容を通読し、通読の過程において、その他の記載内容と計算書類等又は当監査法人が監査の過程で得た知識との間に重要な相違があるかどうか検討すること、また、そのような重要な相違以外にその他の記載内容に重要な誤りの兆候があるかどうか注意を払うことにある。

当監査法人は、実施した作業に基づき、その他の記載内容に重要な誤りがあると判断した場合には、その事実を報告することが求められている。

その他の記載内容に関して、当監査法人が報告すべき事項はない。

#### 計算書類等に対する経営者及び監査等委員会の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して計算書類等を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない計算書類等を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

計算書類等を作成するに当たり、経営者は、継続企業の前提に基づき計算書類等を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

監査等委員会の責任は、財務報告プロセスの整備及び運用における取締役の職務の執行を監視することにある。

#### 計算書類等の監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した監査に基づいて、全体としての計算書類等に不正又は誤謬による重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得て、監査報告書において独立の立場から計算書類等に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、計算書類等の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に従って、監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・不正又は誤謬による重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応した監査手続を立案し、実施する。監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。
- ・計算書類等の監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、監査に関連する内部統制を検討する。
- ・経営者が採用した会計方針及びその適用方法の適切性、並びに経営者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
- ・経営者が継続企業を前提として計算書類等を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、監査報告書において計算書類等の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する計算書類等の注記事項が適切でない場合は、計算書類等に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、企業は継続企業として存続できなくなる可能性がある。
- ・計算書類等の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた計算書類等の表示、構成及び内容、並びに計算書類等が基礎となる取引や会計事象を適正に表示しているかどうかを評価する。

監査人は、監査等委員会に対して、計画した監査の範囲とその実施時期、監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む監査上の重要な発見事項、及び監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

監査人は、監査等委員会に対して、独立性についての我が国における職業倫理に関する規定を遵守したこと、並びに監査人の独立性に影響を与えると合理的に考えられる事項、及び阻害要因を除去するための対応策を講じている場合又は阻害要因を許容可能な水準にまで軽減するためのセーフガードを適用している場合はその内容について報告を行う。

#### 利害関係

会社と監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

# 監査等委員会の監査報告書

## 監査報告書

当監査等委員会は、2023年4月1日から2024年3月31日までの第82期事業年度における取締役の職務の執行について監査いたしました。その方法及び結果につき以下のとおり報告いたします。

### 1. 監査の方法及びその内容

監査等委員会は、会社法第399条の13第1項第1号ロ及びハに掲げる事項に関する取締役会決議の内容並びに当該決議に基づき整備されている体制（内部統制システム）について取締役及び使用人等からその構築及び運用の状況について定期的に報告を受け、必要に応じて説明を求め、意見を表明するとともに、下記の方法で監査を実施しました。

- (1) 監査等委員会が定めた監査の方針、職務の分担等に従い、会社の内部統制部門と連携の上、重要な会議に出席し、取締役及び使用人等からその職務の執行に関する事項の報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、本社及び主要な事業所において業務及び財産の状況を調査しました。また、子会社については、子会社の取締役及び監査役等と意思疎通及び情報の交換を図り、必要に応じて子会社から事業の報告を受けました。
- (2) 会計監査人が独立の立場を保持し、かつ、適正な監査を実施しているかを監視及び検証するとともに、会計監査人からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求めました。また、会計監査人から「職務の遂行が適正に行われることを確保するための体制」（会社計算規則第131条各号に掲げる事項）を「監査に関する品質管理基準」（2005年10月28日企業会計審議会）等に従って整備している旨の通知を受け、必要に応じて説明を求めました。

以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告及びその附属明細書、計算書類（貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書及び個別注記表）及びその附属明細書並びに連結計算書類（連結貸借対照表、連結損益計算書、連結株主資本等変動計算書及び連結注記表）について検討いたしました。

## 2. 監査の結果

### (1) 事業報告等の監査結果

- ① 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、会社の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 取締役の職務の執行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実は認められません。
- ③ 内部統制システムに関する取締役会決議の内容は相当であると認めます。また、当該内部統制システムに関する事業報告の記載内容及び取締役の職務の執行についても、指摘すべき事項は認められません。

### (2) 連結計算書類並びに計算書類及びその附属明細書の監査結果

会計監査人 有限責任 あずさ監査法人の監査の方法及び結果は相当であると認めます。

2024年5月16日

オーウエル株式会社 監査等委員会

常勤監査等委員 西川 周 平 ㊟

監査等委員 坪田 聡 司 ㊟

監査等委員 渡 辺 徹 ㊟

(注) 監査等委員 坪田聡司及び渡辺徹は、会社法第2条第15号及び第331条第6項に規定する社外取締役であります。

以 上

# 株主総会会場ご案内図

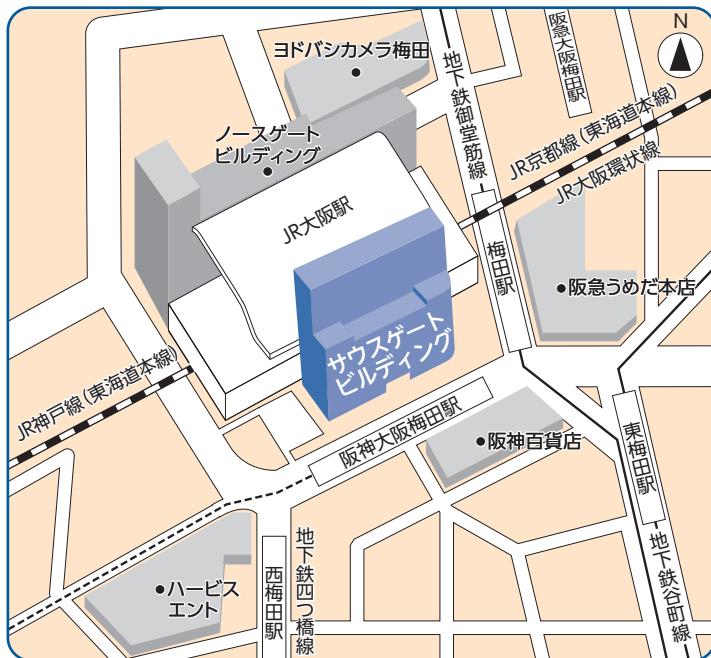
会 場 大阪市北区梅田3丁目1番1号  
ホテルグランヴィア大阪 20階 鳳凰の間

電話番号 06-6344-1235 (代表)

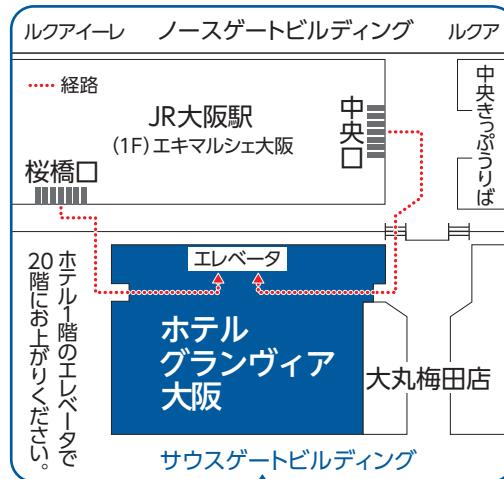
## 交通案内



JR大阪駅 中央口を出て右手すぐ



株主総会の来場記念品(お土産)の用意はございません。  
何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。



オーウェル株式会社

ホームページアドレス  
<https://www.owell.co.jp>



環境に配慮したFSC®認証紙と植物油インキを使用しています。

見やすいユニバーサルデザインフォントを使用しています。